

令和3年度
筑波大学基金
活動及び実績報告

国立大学法人筑波大学
事業開発推進室

2022年6月3日（金）

令和 3 年度活動報告

活動の概要

筑波大学基金の設置から 12 年目となる令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会の経済活動等が停滞する中、令和 5（2023）年度の開学 50 周年を見据えた「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」をはじめとする基金の渉外活動を実施し、単年度で過去 2 番目の寄附金額を獲得することができた。

令和 2（2020）年から始まった新型コロナ感染症対策の影響により、令和 3（2021）年度は 8 月から 9 月にかけて発出された緊急事態宣言等により寄附金獲得に向けた渉外活動が大きく制限された。そのような中でも TSA 事業、紫峰会基金、修学支援事業基金及び 50 周年基金が令和 2（2020）年度の獲得額を上回る額を集めることができた。

新たな附帯事業として、学内 17 か所あるバス停のベンチの更新に合わせて寄附を募る「（フューチャーシップシートプロジェクト（FSP：Futureship Seat Project）」を開始し、8 脚、総額 1,208 万円を獲得した。このうち工事費を除く 800 万円（1 脚当たり 100 万円）が 50 周年基金に加えられる。また、本学の研究成果や学内で生産した農産物を活用し、県内企業と連携して商品を開発・販売し、売り上げの一部を寄附金として得る仕組みとして「一期一会プロジェクト」を構築した。（「つくば茶寮」、「Future SENBEI 一筋」）

令和 4 年 2 月から新たに「筑波大学公式オリジナルグッズ販売事業」をオンラインで開始するとともに、「筑波大学カード事業（平成 27 年度開始）」、「筑波大学オリジナルワイン事業（同）」、「筑波大学オリジナルコーヒー事業（平成 28 年度開始）」、「スーツ事業（平成 28 年度開始）」、「ショッピングプラザ（サクラテラス）事業（平成 30 年度開始）」を引き続き実施した。

ステークホルダーに対応した情報発信として、Twitter、Facebook、LINE 等を活用した。更には、学長オンライン交流会を開催し、国内外の卒業生等との交流を行った。

なお、熊本県等との連携協定に基づき、令和元年度から続く本学陸上部駅伝チームの合宿は、熊本県及び関係市町村の協力を得て行われた。

■ 学生への食料支援

コロナ禍による困窮した学生への食料支援について、令和3年度は、配布する食料等の集荷状況等に依りて実施した。学生に対しては、学生部から TWINS 等への通知に加えて、事業開発推進室で運営する Twitter・Facebook 等の SNS を活用した周知を行った。計3回合わせて約2,700名の学生に食料を配布することができた。

○ 新入生向け食料支援

特に経済的に困窮している新入生のみを対象に、食料支援を実施した。

実施日 令和3年5月22日(土)
 配布者数 637名
 配布物・量 お米、カップヌードル等を纏めたもの300袋

○ つくば機能植物イノベーション研究センター (T-PIRC) 提供による学生支援

T-PIRC より、学生支援のために教育・研究過程で生産された農作物が提供された。

現在の学生の困窮状況を鑑みて、お米及びサツマイモのみの支援を行った。

お米の精米袋詰め等は株式会社田島屋様(土浦市)にご協力いただいた。

実施日 令和3年11月25日(木)・26日(金)
 配布者数 911名
 配布物・量 お米5t、サツマイモ500kg

○ 災害用備蓄食料の提供による学生への食料支援

SMC株式会社 筑波技術センター様から災害用備蓄食料を提供いただき、食料品はレトルト食品を中心に缶詰類や飲料水など、更新時期を迎える備蓄食料の配布を行った。

なお、今回の災害用備蓄食料の提供による支援を通じて、食品ロスの削減、食を通じた循環型社会の構築や、2015年に国連で採択された SDGs (持続可能な開発目標) の達成に貢献するとともに、学生の防災意識の向上にもつながることを目的として開催した。

実施日 令和4年1月31日(月)・2月1日(火)
 配布者数 約1,200名
 配布物・量

非常用備品名称	数量	期限	ケース 入数	ケース 数	非常用備品名称	数量	期限	ケース 入数	ケース 数
UAA いわしの煮付け	600	2022年	50	12	豚汁	1400	202	50	28
UAA さば味噌煮	600	2022年	50	12	フリーズドライビスケット オレンジピール	1152	202	192	6
UAA ハンバーグ	1200	2022年	50	24	フリーズドライビスケット チョコチップ	1152	202	192	6
えいようかん	1400	2023年	100	14	フリーズドライビスケット プレーン	1200	202	192	6箱+48個
おでん缶	2550	2022年	50	51	ヘルスサポートウォーター 500ml	3120	202	24	130
牛丼の具	1400	2023年	50	28	マジックパスタ カルボナーラ	400	202	20	20
サバイバルパン Mフルーツ	1200	2022年	24	50	マジックパスタ きのこ	400	202	20	20
サバイバルパン チョコ	1200	2022年	24	50	マジックパスタ ベベロンチーノ	400	202	20	20
サバイバルパン リンゴ	1200	2022年	24	50	マジックライス 青菜ご飯	800	202	50	16
そのままご飯 カレーライス	1200	2022年	30	40	マジックライス 梅ジャコご飯	750	202	50	15
そのままご飯 チキンライス	1200	2022年	30	40	マジックライス 白米	1200	202	50	24
筑前煮	1400	2023年	50	28	マジックライス わかめご飯	800	202	50	16
肉じゃが	1400	2023年	50	28	水	7776	202	24	324

■ 創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金関係事業

創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金の募集は、卒業生、同窓会組織、学生の保護者、地域の企業等のステークホルダーの方々への依頼を継続した。教職員に対しては、給与天引き、クレジットによる継続払いなどを奨励した。加えて、以下の取組を推進し寄附金受入の増加を図った。

○ フューチャーシップシートプロジェクト (FSP : Futureship Seat Project)

令和 3 年 10 月から本学キャンパス内のバス停ベンチのリニューアルに伴い、寄附者の氏名とメッセージの入ったプレートを取り付けたベンチ (Futureship Seat) を設置するプロジェクトを開始した。真の総合大学の実現に取り組む本学において、学生とステークホルダーの皆様がより密に結ばれることを目的としている。

販売価格	1,510,000 円 / 1 脚 (ベンチ代、工事費除く約 1,000,000 円が寄附相当)
設置場所・脚数	17 か所、59 脚
令和 3 年度入金額	12,080,000 円 (8 脚)

○ 一期一会プロジェクト (お菓子プロジェクト)

地元企業と連携し、本学の研究成果等と県内の食材を利用したお菓子作りを通じて社会的価値へと変換していくことを目的とした「一期一会プロジェクト」を令和 3 年 12 月から開始した。

第一弾として、洋菓子店のコート・ダジュール (つくば市)、野口熊太郎茶園 (茨城県境町) 及び本学健幸イノベーション開発研究センターの 3 者で協業し、「つくば茶寮」の製造・販売を行った。

商品名	つくば茶寮
販売価格	3 個入り 530 円 5 個入り 1,000 円 (各税込)
寄附額	売上げの 5% を大学へ入金

第二弾として、つくば機能植物イノベーション研究センター (T-PIRC) で生産した米を原材料に県内の米菓製造業者の椎名米菓 (取手市) と協業し、「FUTURE SENBEI 一筋」(醤油、砂糖、にんにく醤油各 2 枚 合計 6 枚入り) の製造・販売を行った。

商品名	FUTURE SENBEI 一筋
販売価格	700 円 (税込)
販売店舗	カスミ筑波大学店、Q't 店、椎名米菓で販売
寄附額	売上げの 10% を大学へ入金

■ 継続事業等

○ 筑波大学オリジナルボルドーワイン事業

ボルドー大学との Campus-in-Campus (CiC) 協定締結を記念し、平成 27 年度から同大学の関連シャトーで醸造しているワインの輸入販売を行っている。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等によりワインの輸入を見送ったが、令和 3 年度は輸入を再開した。株式会社カクヤスのオンラインショップ及び株式会社カスミの筑波大学店・プルシェつくばキュート店の 2 店舗にて販売を行った。また、大学公式グッズをオンラインで販売するサイト (TSUKUBA-SHOP) への掲載を予定している。

販売商品

商品名	販売本数	参考価格
シャトー・クーアン ルージュ (赤) (750ml)	1,344 本	4,554 円
シャトー・クーアン ブラン (白) (750ml)	672 本	5,269 円

売上額 5,547,100 円 (税込) (令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月)

販売会社 株式会社カクヤス及び株式会社カスミ

寄附額 令和 2 年度 1,000,000 円

○ 筑波大学オリジナルコーヒー事業

本学のグローバル戦略及び世界展開事業の一環として、平成 27 年 4 月にサンパウロオフィスを開設するとともに、サンパウロ大学、サンタ・クルス病院と協定を締結した。その記念として、サンタ・クルス病院の理事長が所有する農園のコーヒーを輸入し、株式会社サザコーヒー (本社：茨城県ひたちなか市) と提携し、平成 28 年度から販売を開始した。

なお、売り上げの一部を筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

販売商品

商品名	販売価格
筑波大学アリアンサエステートコーヒー 豆 200g	1,500 円 (税込)
筑波大学アリアンサエステートコーヒー カップオン (5 枚入)	1,000 円 (税込)

売上額 5,547,100 円 (税込) (令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月)

販売会社 株式会社サザコーヒー

寄附額 令和 3 年度売上分に対し 1,109,420 円 (販売価格の 20%)

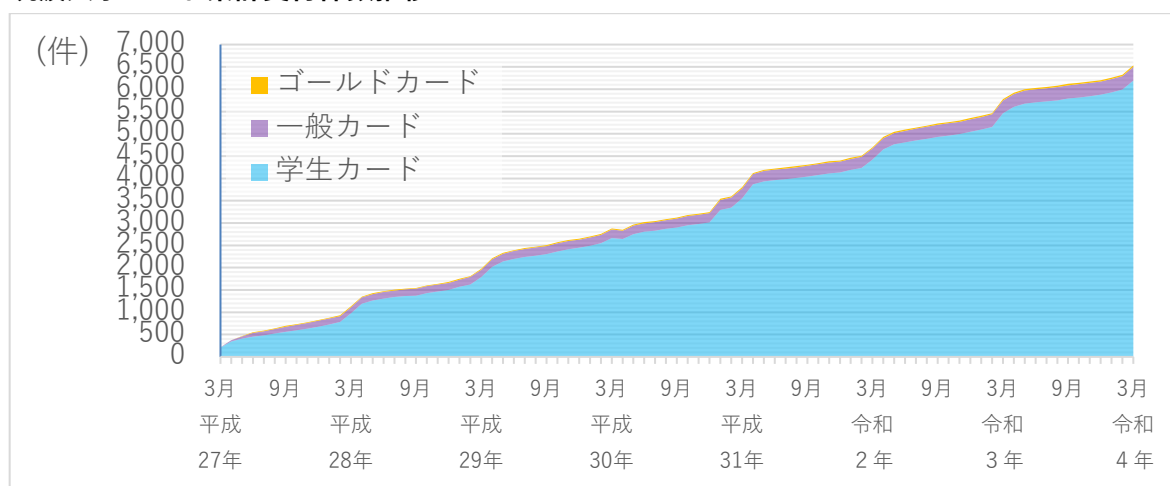
○ 筑波大学カード事業

三井住友カード株式会社と提携契約を締結の上、平成 27 年度から大学関係者を入会対象とするクレジット機能付き大学カード（筑波大学校友会カード）事業を開始し、平成 29 年 1 月、「筑波大学校友会」が学外に設立されたことに伴い、「筑波大学カード」に改称した。5 年間でカードを 4,000 枚発行する目標を掲げ、5 年目の令和元年度に目標数を達成し、その後も着実に発行枚数が増加している。

本カードの最大の特徴は、大学近隣の商店や飲食店、全国展開の大型店、ホテル等約 300 の店舗・施設においてカードの提示により会員特典を受けられることである。

なお、三井住友カード株式会社からは、本カードの入会数に応じたあっせん手数料、会員のカード利用額に応じた、取扱手数料を定期的に筑波大学基金にご寄附いただくこととしている。

筑波大学カード累計受付件数推移



累計受付件数 令和 4 年 3 月末現在 6,533 件

寄附額

令和 3 年度内の筑波大学カード発行数に基づくあっせん手数料	260,700 円
令和 3 年度内の筑波大学カード利用額に基づく取扱手数料	3,437,842 円

○ スーツ事業

平成 28 年度から学生・教職員等の福利厚生のため、学生の入学時や就職活動等で必要となるスーツ等の割引販売を紳士服大手企業 4 社（AOKI、コナカ、洋服の青山、はるやま）と提携した。本事業は、割引販売にかかる広報に大学が協力することにより、提携各社から商品販売価格の一部を手数料として納入いただくもので、受入金は学生支援等に充当する予定としている。

手数料額 令和 3 年度売上分に対し 1,601,995 円（4 社合計）

○ 株式会社ドームとの連携事業

平成 28 年度に、アンダーアーマーの日本総代理店である株式会社ドームと包括的連携協定を締結した。この協定は、スポーツを通じて社会、地域、学生生活をより豊かにすることを大義とし、また、それぞれの資源、研究成果等を活用することを通じてスポーツの産業化、国民の健康増進及び未来を支える人材の育成に資することを目的としている。

この包括的連携系協定は令和 2 年度末をもって期間満了となり、令和 3 年度以降は、本学アスレチック部門との部局間協定として改めて締結された。

株式会社ドームには、本学体育会各部の試合用ユニフォーム等を無償で提供いただいている。

担当部局 アスレチック部門

提携会社 株式会社ドーム（東京都江東区）

寄附額 令和 3 年度内に現物寄附として 試合用ユニフォーム等 12,920,851 円

○ 株式会社 READYFOR との連携

・ 遺贈による寄附への対応

令和 3 年 7 月から、株式会社 READYFOR が提供するサービス「READYFOR 遺贈寄附サポート」の利用を開始した。これまでの三井住友銀行（相続アドバイザー・遺言信託業務）のサポートに加え、遺贈寄附の検討者に対する相談対応窓口を拡充した。

上記の「READYFOR 遺贈寄附サポート」の体制整備により、遺贈寄附に関する 3 件の問合せがあった。

・ クラウドファンディングの実施

平成 28 年 10 月に、クラウドファンディングサイト「Readyfor」を運営する READYFOR 株式会社と契約締結した。

担当部局 財務部財務制度企画課

実績 令和 3 年度実施プログラム 3 件 総額 18,845,000 円

番号	名称	寄附額（円）	寄附者数（人）	担当教員
1	持続可能なデジタルと自然へ向けた開発研究と人材育成に支援を	11,635,000	267	落合 陽一
2	植物・昆虫の形態観察ツールの購入計画-（卓上型走査電子顕微鏡の購入）	1,035,000	46	戒能 洋一
3	第 6 弾 国立大学本気の挑戦！筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト	6,175,000	379	弘山 勉

○ ショッピングプラザ（サクラテラス）事業

学生及び教職員等の福利厚生、利便性の向上に資することを目的として、平成30年10月に筑波キャンパス南地区内にカスミ、サザコーヒーの2店舗を核とするショッピングプラザ（サクラテラス）をオープンした。

カスミでは、本学の「つくば機能植物イノベーション研究センター（T-PIRC）」で生産されたお米やオリジナルワイン、煎餅の販売を行った。

サザコーヒーでも、季節ごとのイベントや定期イベント、新商品の先行販売会等を実施しており、学内関係者や近隣住民の方々の憩いの場、交流の場として定着しつつある。

事業期間 平成30年4月4日～令和20年9月30日

使用料等 営業利益額の1%が大学に入金予定（カスミのみ：R3年度は赤字のため0円）

○ 筑波大学公式オリジナルグッズ販売事業

株式会社デューク・コーポレーションと筑波大学公式オリジナルグッズの販売及び店舗運営委託契約を締結し、令和4年2月からオフィシャルオンラインストア「TSUKUBA-SHOP」を開設し、公式グッズの販売を開始した。

なお、筑波大学公式オリジナルグッズの全売上の10%を販売ロイヤリティとして、本学へ納入されることとなっている。

販売ロイヤリティ額 令和3年度第4四半期売上分に対し 38,316円

■ その他の事業

○ 有価証券による寄附

平成30年の税制改正により、個人からの株式等の寄附について非課税措置の手続きが簡便化されたことを踏まえ、令和元年12月に有価証券による寄附を受入れた。この寄附は、有価証券の配当金をもって本学教育研究の活動支援に使用するものであり、筑波大学基金内に新たに設けた「現物資産活用基金」として運営を行っている

また、有価証券の受入れ拡大を目指し、外訪時における税制上の支援を強化するため、税理士及び公認会計士の資格を有する本学修了生と業務委託契約に向けた協議を開始した。

令和3年度現在の受入実績

有価証券 MCUBS MidCtiy 投資法人 3口 (348,600円)

寄附者 鈴木英明様（茨城県つくば市在住）

受入日 令和元年12月18日

■ 地域との連携

○ 学長を囲む会

平成 21 年から大学と地域を結びつけることを目的に「学長を囲む会」をスタートした。

メンバー拡大に努め、研究成果や大学に関連する情報を発信し、地域との交流を深めた。会員数、参加者も増加し、毎回 150 名を超える規模となった。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、「学長を囲む会」開催は自粛した。

会員数 320 企業／団体（令和 4 年 3 月現在）

○ 寄附者への感謝の集い

平成 30 年度から、寄附者への感謝の意を表するとともに、寄附者と大学との交流を促進し、繋がりを強化する機会として、寄附者への感謝の集い「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING」を開催してきた。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会自体の開催を断念した。その代替措置として、令和 3 年度の一般の寄附者（新たに個人 10 万円以上、法人 50 万円以上のご寄附をいただいた方）に対しては、つくば茶寮、オリジナルエコバック及び基金活動報告書を対象となる 565 名に送付した。令和 2 年度までに既に対象金額のご寄附をいただいている寄附者向けには、対象となる 1,365 名へ基金活動報告書のみ送付した。

また、高額寄附者（過去 5 年間で 500 万円以上または附帯事業で協力いただいている寄附者）に対しては、感染症対策を十分行ったうえで「TSUKUBA FUTURESHP CREW'S MEETING for SPECIAL」を対面開催する予定であったが、コロナ禍の情勢悪化に鑑み、年度内の開催を中止した。

次年度以降は、オンライン開催や対面・リモートのハイブリッド開催等も視野に入れ、新たな開催方法を検討していく。

■ 卒業生との連携

○ ホームカミングデーの実施

例年、卒業生同士で旧交を温め、大学との関係も深めていただく目的で、学園祭の期間中に卒業生を大学に招待するホームカミングデーを開催している。通常は立食パーティ形式で開催していたが、令和3年度はコロナ禍に鑑み、オンライン形式で令和3年11月6日（土）に開催した。

全体の構成は前半・後半の2部構成とし、前半は、東京2020大会に出場しメダリストに輝いた在学学生や著名な卒業生らを招いてのトークショー、卒業生の回答者4名を迎えての大学にまつわるクイズ大会や現役在学学生と卒業生の対談企画を実施した。この模様はYouTubeとFacebookでライブ配信し、留学生の卒業生向けに同時通訳の配信も並行して行った。後半は、卒後20年及び5年の卒業生をコミュニケーションツールoVice（オヴィス）で繋ぎ、オンライン上で交流会を実施した。

○ 学長と卒業生とのオンライン交流会

卒業生とのリレーション再構築と、卒業生・大学双方の情報交換を目的として、令和2年12月から、ZOOMなどを活用した学長と卒業生とのオンライン交流会を開始した。卒業生は、専用ホームページに掲載されている学長のスケジュールから希望の日時を選択し、参加申し込みを行う。

国内はもちろん、海外のような遠方に在住の方でも比較的容易に参加でき、学長から直接大学の現状をお話いただけるということもあり、令和3年3月末までで33組214名と多くの卒業生等が参加した。

○ 筑波大学交流広場事業の推進

筑波大学交流広場（旧称：筑波大学校友会）は、本学と卒業生・修了生、在学学生、元教職員、教職員、課外活動団体及び各同窓会といった本学関係者との連携強化（交流促進、相互支援、最新情報共有化等）を目的として、平成24年4月からSNSを運用している。令和3年度も継続して、生涯メールアドレス（登録者数：約45,000人）やLINE（登録者数：約5,700人）・twitter（フォロワー数：約3,600人）・Facebook（フォロワー数：約240名）などのツールを積極的に活用して情報発信に努めた。

○ 茗溪会

明治 15 年 4 月 29 日 当時の東京師範学校卒業生によって設立され、平成 24 年 4 月から一般社団法人茗溪会として活動しており、本学の開学当初から、多くの支援をいただいている。

また、平成 30 年 4 月に「茗溪・筑波産業人倶楽部」を発足させ、本学卒業生の産業人を中心したネットワークの構築と本学学生に対する支援を開始。

同会の目的として、次の 3 点を掲げている。

- (1) 会員相互の親睦及び互助並びに知徳の啓発を図る
- (2) 国立大学法人筑波大学の目的及び使命の達成に協力する
- (3) 学術、文化、教育並びに社会貢献活動及び国際相互理解の促進に資する

会員数 約 53,000 名

茗溪会からのご支援：茗溪・筑波産業人クラブによるキャリアカフェの開催（オンライン 2 回）

○ 筑波みらいの会

「筑波みらいの会」とは、平成 24 年度に立ち上げられた「筑波大学出身経営者の会（仮称）」が、平成 25 年 5 月の総会において正式に発足したものである。令和 2 年度は、11 月開催のオンラインホームカミングデーへの支援をいただいた。

同会は設立意義として次の 3 点を掲げている。

- (1) 会員同士が連携・交流すること
- (2) 会員から大学及び学生に対して貢献・支援・連携すること
- (3) 大学の成果・情報を会員に提供すること

会員数 51 名（令和 4 年 3 月現在）

筑波みらいの会からのご支援：ホームカミングデーへの支援 1,000,000 円

○ 筑波大学校友会

筑波大学校友会（会長：江崎玲於奈）は、筑波大学の卒業生・修了生、在学生及び教職員等を構成員として、平成 29 年 1 月に設立された。令和 3 年度は、ホームカミングデーへの支援、学群卒業生への学位記収納ホルダの寄贈、校友会賞の授与の他、学生のキャリア形成に繋がる交流事業へもご協力いただいた。

同会の実施事業については、次の 3 点を掲げている。

- (1) 会員相互の交流と親睦に寄与する事業
- (2) 筑波大学との連携及び協力を推進する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

会員数 971 名（令和 4 年 3 月現在）

校友会からのご支援：

- ・ 学位記ホルダ（学群生用：1,200,000 円相当）
- ・ 校友会賞（学群・学類各 1 人 賞状及び記念品：210,000 円相当）

令和3年度寄附受入・支援等状況

■ 寄附受入概要

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による募金活動の停滞があったものの、「創基151年筑波大学50周年記念基金」へのご寄附が増加し、単年度で3億円を上回る寄附金を受け入れた。

一般基金、病院寄附金、及び留学生後援会基金において、受け入れ額が前年度より減少したが、筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）事業基金が前年比で約2倍、研究者の卵サポート基金が約43倍、創基151年筑波大学50周年記念基金（FSP及びコロナ緊急学生支援を除く）では、約2.5倍の受け入れ額となった。

■ 令和3年度寄附受入実績

集計期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

○ 現金による寄附 387,402,404円 7,583件

区分	寄附額（単位：円）		件数	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
一般基金 支援1. 教育・人材育成 支援2. 国際交流 支援3. 学術研究 支援4. 地域貢献 指定無し 用途特定 世界を変えよう基金（MDW基金）…※1	119,199,022	133,250,298	3,124	3,194
特定基金				
創基151年筑波大学50周年記念基金	169,462,484	66,882,728	2,469	2,622
フューチャーシップシートプロジェクト（FSP）	12,080,000	-	8	-
新型コロナウイルス流行に伴う「学生のための緊急支援金」	-	170,824,437	-	5,469
筑波大学スポーツアソシエーション（TSA）事業	10,390,200	5,116,000	282	247
附属病院支援事業（40周年事業基金を含む）	9,879,000	26,617,000	57	56
紫峰会基金	34,020,000	26,954,026	1,354	1,101
留学生後援会基金	1,404,702	2,281,000	210	263
修学支援事業基金（「今川FUTURE基金」を含む…※2）	15,804,000	9,892,000	68	62
研究者の卵サポート基金	15,147,000	350,000	9	2
現物資産活用基金※3	15,996	6,147	2	1
合計	387,402,404	442,173,636	7,583	13,017

※1…「世界を変えよう基金」は、一般基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学『世界を変えよう基金』（MDW基金）運営要項」に基づき運用。

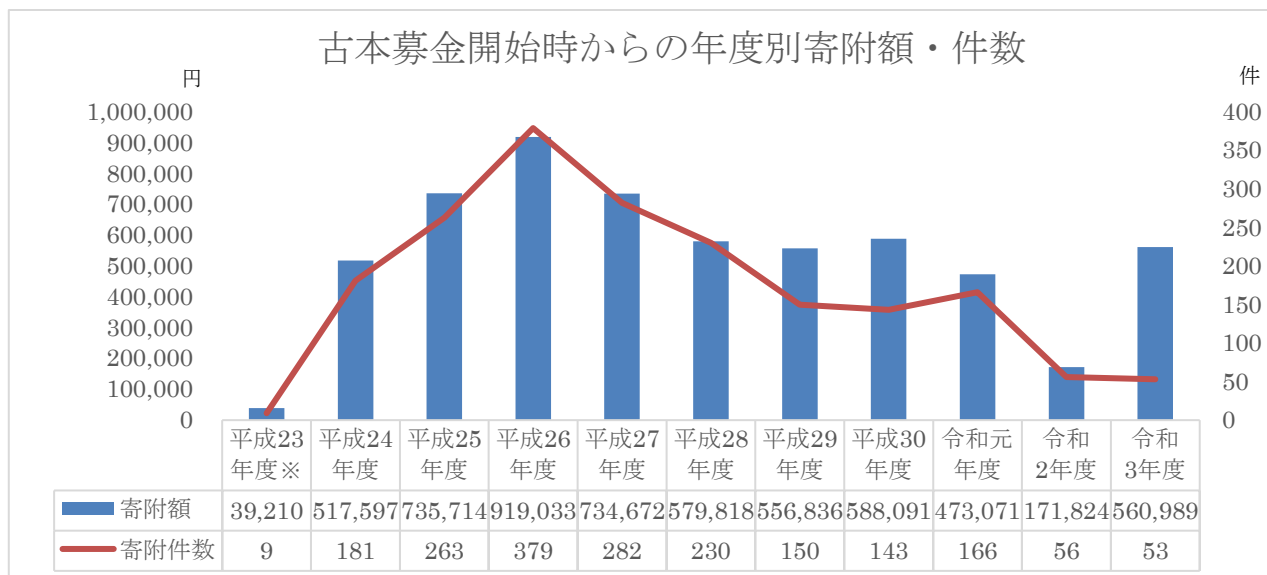
※2…「今川FUTURE基金」は、修学支援事業基金への寄附金として受け入れた資金を「筑波大学学生奨学金制度つくばスカラシップに関する要項」に基づき運用。

※3…現物資産活用基金は、有価証券（R1.12.18寄附受け）の配当金である。

○ 古本募金（一般基金の内訳として）

古本募金については、コロナ禍の影響で一時中断していた古本受入が再開した。古本買取業者の開拓等により、寄附金額が大幅増となった。

延べ 53 件 寄附額 計 560,989 円



※平成24年3月～

○ 現物寄附 3 件 33,104,201 円

屋内用移動式観覧席 6 台 19,795,600 円※（コトブキシーティング（株）様）

試合用ユニフォーム等 12,920,851 円（（株）ドーム様）

筑波大学バス停ベンチ 1 脚 387,750 円※（（株）コトブキ様）

※は、創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金への寄附。

○ 預金利息

（単位：円）

行 名	普通預金利息
三井住友銀行 つくば支店	242
三菱 UFJ 銀行 本店	725
常陽銀行 研究学園都市支店	6,500
筑波銀行 つくば営業部	134
合 計	7,601

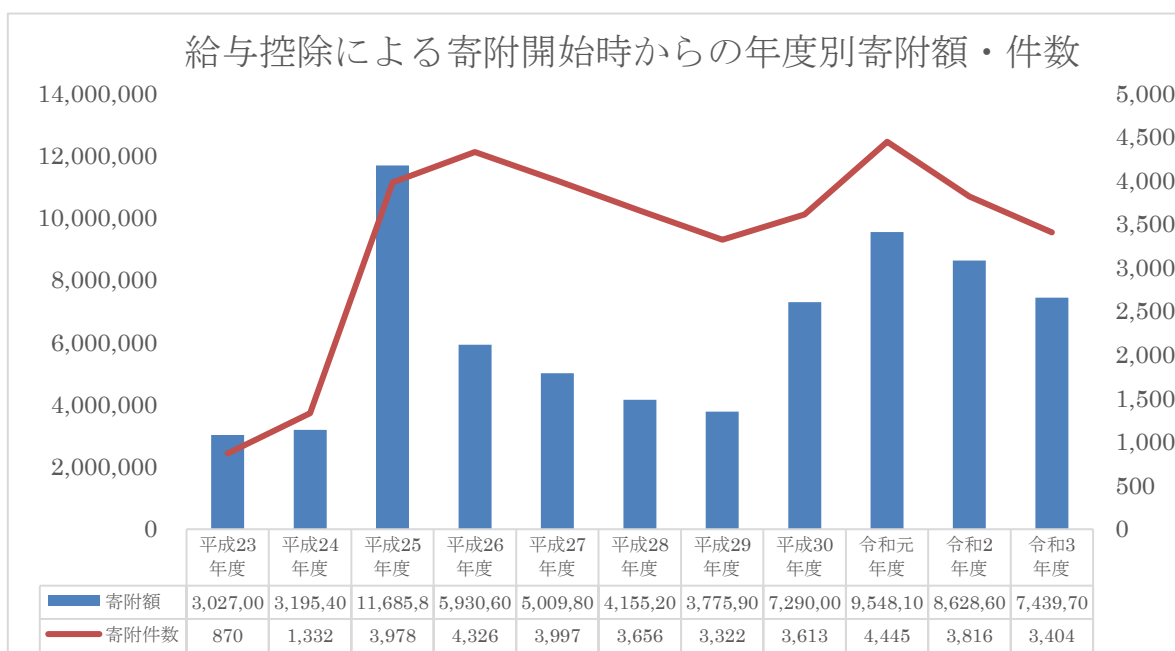
○ 教職員向け給与控除による寄附実績（創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金を含む）

件数 延べ 3,404 件

寄附額 計 7,439,700 円

職種	登録者数
役員等	10
教員	133
事務職員・技術職員（非常勤職員を含む）	154
附属病院看護師	6
附属学校教員等	16
合計	319

※令和 3 年度 3 月末日時点のデータ



■ 令和3年度 一般基金からの支援状況等

○ 用途特定分を除く一般基金からの支援・支出

事項	計画額 (単位：円)	実績額 (単位：円)
学園祭	1,000,000	-
スポーツ・デー	500,000	500,000
つくばスカラシップ	4,300,000	4,300,000
活動(交際)費	1,000,000	312,959
入金処理手数料等(返礼品等を含む)	5,000,000	3,264,919
執行額計		8,377,878

※学園祭への支援は、オンライン開催のため支給しなかった

○ 一般基金に受け入れた、寄附者の意向に基づく用途特定寄附金からの支援

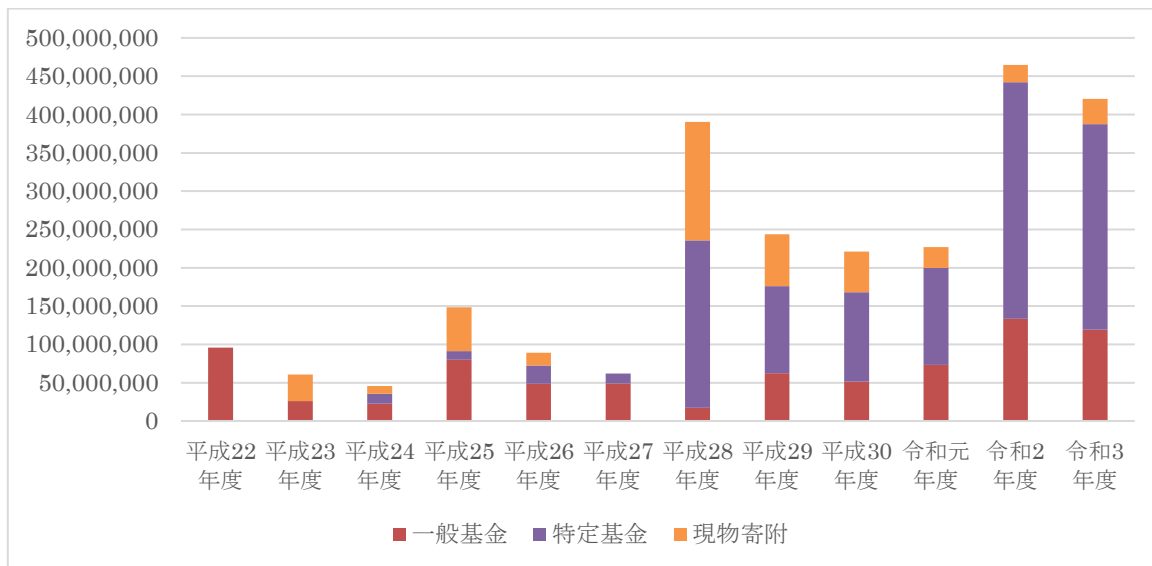
支援事項	支援実績額 (単位：円)
ヘルスサービス開発研究センターへの支援	6,000,000
研究支援(人文・社会系、人間系、TARAセンター)	4,100,000
教育支援(学生部)	1,300,000
国際統合睡眠医科学研究機構	260,000
附属図書館図書購入支援	1,228,367
アスレチックデパートメント	20,795,936
附属小学校	19,612,000
附属中学校	9,568,000
附属坂戸高等学校	11,900,000
附属駒場中・高	18,710,300
附属視覚特別支援学校	5,667,000
執行額計	99,141,603

○ 「世界を変えよう基金」からの支援

支援事項	支援実績額 (単位：円)
社会・文化貢献事業支援	76,970
大学附属図書館図書購入支援	188,957
人材育成プログラム(旧 国際人材養成プログラム)	75,000
鈴木奨学金	1,319,050
博物館・美術館鑑賞支援	100,450
執行額計	1,760,427

■基金設立時からの年度別寄附額（創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金を含む）

○ 年度別寄附額（全体）

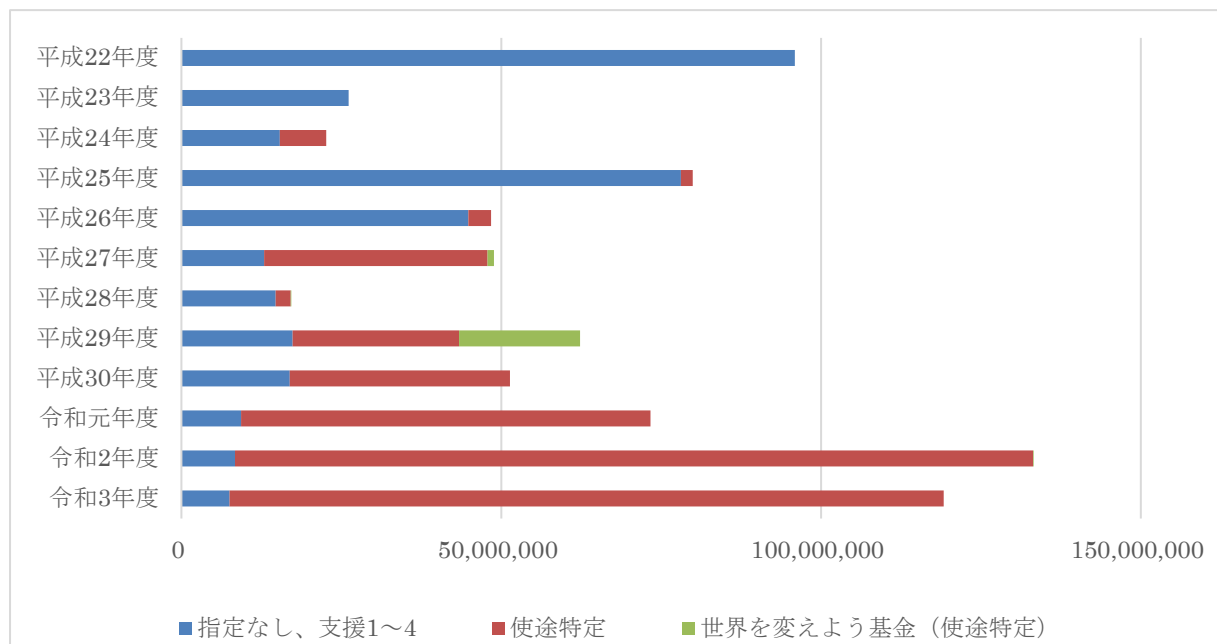


(円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
一般基金	62,322,192	51,380,049	73,330,722	133,250,298	119,199,022	778,570,974
特定基金	113,834,721	116,511,609	126,343,246	308,923,338	268,203,382	1,213,433,315
現物寄附	67,671,300	53,391,184	27,437,024	22,683,085	33,104,201	477,335,827
合計	243,828,213	221,282,842	227,110,992	464,856,721	420,506,605	2,469,340,116

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
一般基金	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694
特定基金	—	—	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811
現物寄附	0	34,413,150	10,120,468	57,148,739	16,724,024	0	154,642,652
合計	95,905,932	60,540,400	45,561,495	148,323,409	89,292,781	61,772,569	390,358,157

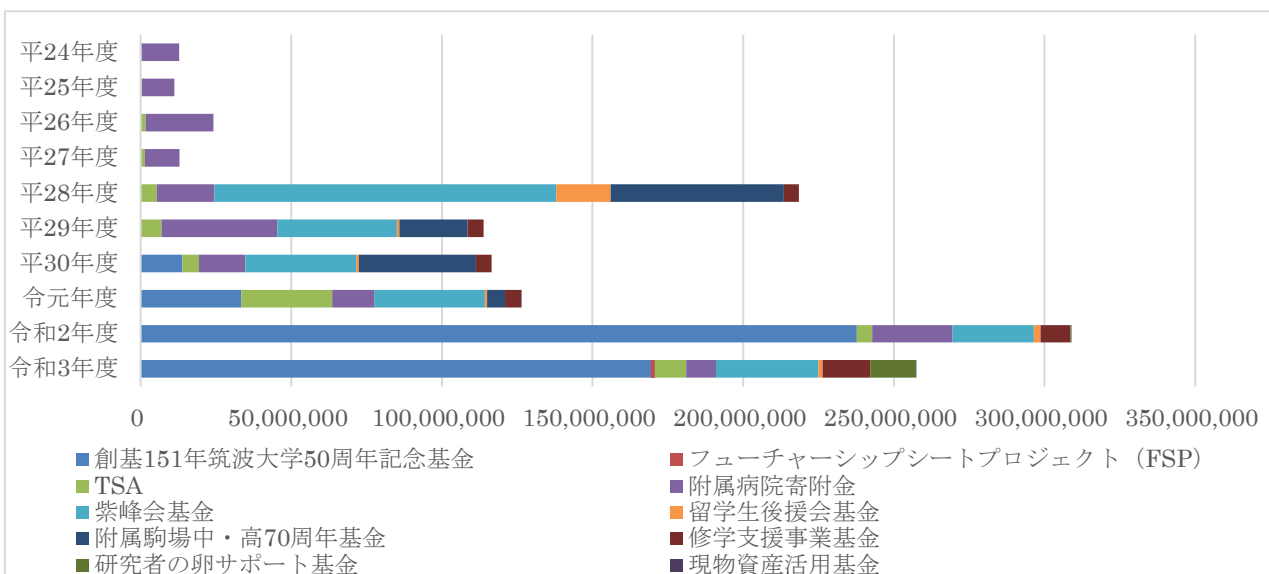
○ 一般基金年度別寄附額



寄附目的	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	合計
指定なし、支援 1~4	17,369,584	16,915,172	9,313,688	8,367,539	7,515,113	347,545,283
使途特定	26,052,608	34,464,877	64,017,034	124,782,759	111,683,909	410,925,691
世界を変えよう基金 (使途特定)	18,900,000	0	0	100,000	0	20,100,000
合計	62,322,192	51,380,049	73,330,722	133,250,298	119,199,022	778,570,974

寄附目的	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
指定なし、支援 1~4	95,905,932	26,127,250	15,383,107	78,106,662	44,862,290	12,933,195	14,745,751
使途特定	—	—	7,240,900	1,814,500	3,576,373	34,932,788	2,359,943
世界を変えよう基金 (使途特定)	—	—	—	—	—	1,000,000	100,000
合計	95,905,932	26,127,250	22,624,007	79,921,162	48,438,663	48,865,983	17,205,694

○ 特定基金年度別寄附額



(円)

寄附目的	平 30 年度	令元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	合計
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金※2	13,900,400	33,378,384	237,707,165	169,462,484	454,448,433
フューチャーシップシートプロジェクト(FSP)	—	—	—	1,208,000	1,208,000
TSA	5,496,000	30,244,791	5,116,000	10,390,200	67,214,466
附属病院寄附金	15,344,500	13,893,000	26,617,000	9,879,000	180,798,955
紫峰会基金	36,835,650	36,730,206	26,954,026	34,020,000	287,524,898
留学生後援会基金	804,000	745,000	2,281,000	1,404,702	24,200,026
附属駒場中・高 70 周年基金	38,929,059	6,005,000	—	—	125,110,529
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金含)	5,202,000	5,341,000	9,892,000	15,804,000	46,531,000
研究者の卵サポート基金	—	—	350,000	15,147,000	15,497,000
現物資産活用基金	—	5,865	6,147	15,996	28,008
合計	116,511,609	126,343,246	308,923,338	257,331,382	1,202,561,315

寄附目的	平 24 年度	平 25 年度	平 26 年度	平 27 年度	平 28 年度※1	平 29 年度
創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金※2	—	—	—	—	—	—
フューチャーシップシートプロジェクト(FSP)	—	—	—	—	—	—
TSA	256,325	342,472	1,624,275	1,400,438	5,394,465	6,949,500
附属病院寄附金	12,560,695	10,911,036	22,505,819	11,506,148	19,099,165	38,482,592
紫峰会基金	—	—	—	—	113,416,016	39,569,000
留学生後援会基金	—	—	—	—	18,078,324	887,000
附属駒場中・高 70 周年基金	—	—	—	—	57,511,841	22,664,629
修学支援事業基金 (今川 FUTURE 基金含)	—	—	—	—	5,010,000	5,282,000
研究者の卵サポート基金	—	—	—	—	—	—
現物資産活用基金	—	—	—	—	—	—
合計	12,817,020	11,253,508	24,130,094	12,906,586	218,509,811	113,834,721

※1 平成 28 年度寄附額には、紫峰会、留学生後援会からの移行資産を含む。

※2 「創基 151 年筑波大学 50 周年記念基金」には、「新型コロナウイルス流行に伴う『学生のための緊急支援金』」も含む